

韓国忠清南道－日本静岡県友好協定締結10周年記念  
忠清南道文化遺産特別展

# 誠信交隣の 再発見

2023年

12月2日 土

2024年

1月12日 金

開館時間：

10時 - 18時

(入場は閉館30分前まで)

休館日：

毎週月曜日、

12月29日(金) - 1月3日(水)

入館料：無料



主催 | 忠清南道、  
忠清南道歴史文化研究院

特別 | 駐日韓国大使館

協力 | 韓国文化院

協力 | 静岡県、駐横浜大韓民国総領事館、  
釜山文化財団、遼岩書院、  
静岡県埋蔵文化財センター



会場：清水マリニビル 多目的ホール(1階)



静岡市清水区日の出町9-25

〒424-0922 TEL 054-353-2311

問合せ：静岡県地域外交課 TEL 054-221-3066



詳細はQRコード  
ご覧ください。



忠清南道  
Chungcheongnam-do



忠清南道歴史文化研究院  
Chungcheongnam-do Historical and Cultural Research Institute



駐日韓国文化院  
Korean Cultural Center in Japan

東アジア文化都市2023 静岡県

韓国忠清南道-日本静岡県の友好協定締結10周年を記念して「忠清南道文化遺産特別展：誠信交隣の再発見」を開催します。今回の展示会を通じて忠清南道の歴史と文化を知るきっかけとなり、さらには、静岡県と忠清南道の絆を一層深め、韓・日の文化交流がさらに活発となるように企画しました。

今回の展示は、5つのテーマ展示から構成されており、テーマによって忠清南道の過去・現在・未来が分かるような遺物と映像が展示されています。

## 展示構成

### I. 展示紹介と忠清南道の四季

1つ目の展示としては、忠清南道の四季をご紹介します。忠清南道は、百済の輝かしい足跡が残された地域であり、道内には百済の首都であった公州(コンジュ)と扶餘(ブヨ)があり、歴史的な寺院と文化財を所々で見ることができます。

また、唐津(タンジン)では西海の日の出が見られ、保寧(ポリョン)では世界各地から旅行者が集まるマッドフェスティバルを楽しむことができます。

### II. 百済と古代韓・日交流史

2つ目の展示としては、百済と古代韓国-日本の交流が分かる歴史的な出来事と遺物をご紹介します。

古代百済と日本の関係を示す出来事では、「白村江の戦い」があります。白村江の戦いとは、百済が滅亡した後の663年に現在の忠清南道の西海岸で起きた百済復興軍・日本連合軍と新羅・唐連合軍と戦いです。

関連遺物として、静岡市清水区の尾羽廃寺跡で出土した軒瓦を展示します。当時百済支援軍の将軍として参戦した「庵原君臣(いおはらのきみおみ)」の本拠地が静岡市清水区庵原地区であったとされています。庵原の尾羽には、680年頃に地方役所が置かれ、そこに尾羽寺が建てられていたことが発掘調査で判明しています。この寺院は庵原君臣が敗戦したものの、無事帰国できたことを神仏に感謝して建立したと推定されています。

### III. 忠清監営と遷岩書院

3つ目の展示としては、忠清監営(カミョン)、そして遷岩(トナム)書院に関する遺物をご紹介します。忠清監営は、17世紀初頭に現在の忠清南道の公州に設置されました。監営は、現在の韓国の道庁(日本の県庁)のように朝鮮時代の各道の首府に設置され、忠清南道観察使が行政・司法を担当した行政機関です。

忠清監営の遺物では、錦営測雨器(グムヨンチュェグギ)を展示します。測雨器とは、雨が降った量を測定する器具で、朝鮮初期(1442年)に初めて作られました。1837年に作られた錦営測雨器が唯一現存しています。

書院は朝鮮時代の儒学者によって各地方に建立された代表的な私立教育機関です。忠清南道の論山(ノンサン)にある遷岩書院は、朝鮮中期の代表的な儒学者である金長生[キム・ジャンセン、号は沙溪(サゲ)]の学問と徳行を称えるため、彼の弟子たちが建立した代表的な書院です。忠清儒学の本山である遷岩書院に関する遺物や映像を展示します。

### IV. 忠清南道の朝鮮通信使

4つ目の展示としては、忠清南道の朝鮮通信使に関する遺物とVR・体感コンテンツを展示します。朝鮮通信使とは、江戸時代に朝鮮から日本へ派遣した平和の外交使節団です。1607年~1811年まで12回、派遣されました。

最後に派遣された朝鮮通信使の代表は、忠清南道の出身である金履喬(キム・イギョ、号は竹里(ジュンリ))です。彼が残した『辛未(シンミ)通信日録』は、1811年日本対馬に行った際に作成した記録物です。この中で、通信使を派遣する理由、日本での旅程、通信使の帰還などの過程が記録されています。『辛未通信日録』は、2017年ユネスコ「世界の記憶」に登録されました。

「嵯路勝区図(サロスングド)」は、朝鮮通信使の随行絵師が通信使の旅程を記録した絵です。「嵯路」は、海道を意味し、「勝区」とは美しい景色を意味します。

### V. 忠清南道と静岡県の未来

5つ目の展示としては、忠清南道と静岡県の未来を創る世代の出会いとして、忠清南道の小学生を対象とした美術大会の受賞作品100作と静岡県の友人へのメッセージを展示します。

2023年10月7日、忠清南道-静岡県友好協定締結10周年を記念して、忠清南道小学生美術大会を開催しました。参加した小学生は「平和の使節、朝鮮通信使」、「韓国と日本の発展的な未来」、「静岡県の子供たちに知ってもらいたい忠清南道の歴史と文化」の3つのテーマの中から1つを選んで絵を描きました。

## 交通案内



【お車でお越しの方】  
東名清水ICより臨港道路経由15分。  
お車でお越しの際は、  
「清水マリナーパーク」をご利用下さい。

【公共交通機関をご利用の方】  
JR清水駅または静岡鉄道新清水駅下車、  
しずてつジャストライン 三保山の手線  
「波止場・フェルケール博物館」  
バス停下車施設まで徒歩3~5分

【ドリームプラザ無料シャトルバス】  
JR清水駅 ↔ 静岡鉄道新清水駅 ↔  
エスパルスドリームプラザまで  
無料バスを運行しています。所要約10分